

17.総合振込先ファイル（全銀協規定形式）

(a) 全銀協規定形式で必要とする項目一覧について

総合振込先管理業務振込先ファイル（全銀協規定形式）のフォーマットは、依頼データのフォーマットと同一である。

総合振込先管理業務振込先ファイル（全銀協規定形式）の項目と、利用者が画面で選択した登録方法を元に振込先登録を行う。ファイル受付で使用する項目を表1に示す。

総合振込先管理業務振込先ファイル（全銀協規定形式）に存在しない項目は、総合振込先管理業務振込先ファイル（全銀協規定形式）の内容、または利用者が画面で選択した項目を元に補われる。該当する項目を表2、表3に示す。

表1 総合振込先管理業務振込先ファイル（全銀協規定形式）で使用する項目一覧

項番	項目名	内容
1	振込先口座情報	取引先金融機関コード
2		取引先店舗コード
3		取引先預金種別コード
4		取引先口座番号
5	受取人名（カナ）	データレコードの「受取人名」が設定される。
6	ED11／顧客コード1	データレコードの「識別表示」により、以下の値が設定される。 (1) “Y”の場合 データレコードの「EDI情報」の前半10文字 (2) ” Y” 以外の場合 「顧客コード1」
7	ED12／顧客コード2	データレコードの「識別表示」により、以下の値が設定される。 (1) “Y”の場合 データレコードの「EDI情報」の前半10文字 (2) ” Y” 以外の場合 「顧客コード2」

※ヘッダレコードの金融機関コードが申込書の金融機関コードと合致していることをチェックするため、正しく設定する必要がある

表2 総合振込先管理業務振込先ファイル（全銀協規定形式）の内容を元に補う項目一覧

項番	項目名	内容
1	取引先登録名	システムにより、データレコードの「受取人名」が取得され、全角文字に変換された値が設定される。なお、受取人名に濁点、および半濁点が存在し、前1文字との組み合わせが実在する文字の場合、全角文字1文字で設定される。（例：が→ガ）
2	振込先金融機関名（漢字）	データレコードの「被仕向銀行番号」を元に補完される
3	振込先支店名（漢字）	データレコードの「被仕向支店番号」を元に補完される

表3 利用者の画面での選択項目を元に補う項目一覧

項番	項目名	内容
1	先方負担手数料適用区分	選択した「登録方法」が”すべての振込先に手数料先方負担を適用”の場合、先方負担扱いとする。
2	所属グループ	振込先ファイルで指定した振込先を、選択した「所属グループ」に登録する。

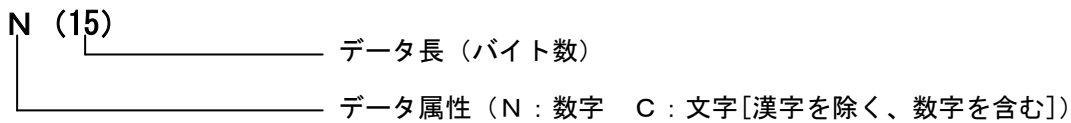
(b) 基本事項

レコードフォーマット各表の基本事項を示す。

表4 レコードフォーマットの例

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	2 : データレコード	○	
2 16	2	支店名	C (15)	支店カナ名称		△	
17 20	3	ダミー	C (4)	未使用		—	

・「データ長」欄の見方



・「区分」欄の見方

表5 区分内容

区分欄	内容
‘○’	必ず設定が必要な項目
‘△’	条件により設定する必要がある項目
‘—’	設定なし (初期値を設定)

・設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値について

設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値を初期値として、データ属性ごとに以下のように値を設定する。

表6 設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値 (初期値)

項番	データ属性	初期値
1	N	オールゼロ (“0”)
2	C	オールスペース (“ ”) ただし半角スペース

・各項目のデータ設定について

各項目の有効データがデータ長に満たない場合は、データ所属により以下のように扱う。

表7 各項目のデータの設置方法とその例

項番	データ属性	データ長
1	N	後方の半角スペース削除後、前方に“0”を設定する。
2	C	左詰後、後方に半角スペースを設定する。ただし、前方の半角スペースは有効データとみなす。

属性 (データ長)	有効データ	備考
N (5)	“13”	“00013”
C (5)	“ABC” “ ABC”	“ABC” “ ABC”

(c) ファイル形式

ヘッダ レコード	改 行	デー タ レ コ ー ド 1	改 行	デー タ レ コ ー ド N	改 行	ト レ ー ラ レ コ ー ド	改 行	エン ド レ コ ー ド	改 行	E O F
←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト		←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	1 バ イ ト

図 1 全銀協規定形式のファイル形式

【注意事項】

- ・全銀協規定フォーマットに準拠する。
- ・改行コードは、「CR+LF (0d0a)」、「CR (0d)」、「LF (0a)」とする。
- ・ファイルは、改行コードなしの形式でも受付可能である。
- ・エンドレコード後の改行コード及び EOF (1a) は、任意。
- ・システムではファイル内の改行コードを一律削除し、120 バイト単位にレコードとして取り扱う。
- ・ファイル構成は、図 1 のようにシングルファイルのみとなる。(マルチサブファイル不可)
- ・改行コードを含めて 120 バイトの形式でも受付可能であり、改行コードは削除せずスペースに置き換える。

(d) ファイルフォーマット

表 8 ヘッダレコードのレコードフォーマット[120バイト]

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	1 : ヘッダレコード	○	
2 3	2	種別コード	N (2)	取引種別	21 : 総合振込	○	
4	3	コード区分	N (1)	文字コード種別	0 : JIS 1 : EBCDIC	—	
5 14	4	委託者コード	N (10)	金融機関が採番した 委託者コード		—	
15 54	5	委託者名	C (40)	振込元の委託者名		—	
55 58	6	取組日	N (4)	振込指定日		—	
59 62	7	仕向銀行番号	N (4)	取引金融機関コード (統一金融機関番号)		—	
63 77	8	仕向銀行名	C (15)	取引金融機関名		—	
78 80	9	仕向 支店番号	N (3)	取引店舗コード (統一店番号)		—	
81 95	10	仕向支店名	C (15)	取引支店名称		—	
96	11	預金種別 (依頼人)	N (1)	振込依頼人の科目		—	
97 103	12	口座番号 (依頼人)	N (7)	振込依頼人の 口座番号		—	
104 120	13	ダミー	C (17)	未使用		—	

総合振込先管理業務

表9 データレコードのレコードフォーマット[120バイト] (1/2)

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	2: データレコード	○	
2 5	2	被仕向 銀行番号	N (4)	振込先金融機関コード (統一金融機関番号)		○	画面の「金融機関名」 として表示される
6 20	3	被仕向 銀行名	C (15)	振込先金融機関名称 (カナ)		△	被仕向銀行名に対応 する漢字金融機関名が 「金融機関名称」として 表示される (注1)
21 23	4	被仕向 支店番号	N (3)	振込先店舗コード (統一店番号)		○	画面の「支店名」 として表示される
24 38	5	被仕向 支店名	C (15)	振込先営業店名称 (カナ)		△	被仕向支店名に対応 する漢字支店名が 「支店名」として 表示される (注1)
39 42	6	手形交換所 番号	N (4)	未使用		—	
43	7	預金種目	N (1)	振込先の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 4: 貯蓄預金 9: その他	○	画面の「科目」として 表示される
44 50	8	口座番号	N (7)	振込先の口座番号		○	画面の「口座番号」 として表示される
51 80	9	受取人名	C (30)	受取人名 (カナ)		○	画面の「受取人名」 として表示される (注1)
81 90	10	振込金額	N (10)	登録支払金額	(注2)	△	画面の「登録支払金額」 として表示される (注3)
91	11	新規コード	N (1)	未使用		—	

総合振込先管理業務

表9 データレコードのレコードフォーマット[120バイト] (2/2)

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
92 101	12	顧客 コード1	N (10)	依頼人が定めた 受取人識別のための 顧客コード情報		△	画面の「顧客コード1/2」 として表示される。 識別表示欄に” Y” 以外 を付与した場合に設定
102 111	13	顧客 コード2	N (10)			△	

92 111	12 13	EDI情報	C (20)	依頼人から受取人に 対して通知する EDI情報		△	画面の「EDI情報」として 表示される。 識別表示欄に” Y” を 付与した場合に設定 (注1)
----------------	----------	-------	--------	-------------------------------	--	---	--

112	14	振込区分	N (1)	未使用		—	
113	15	識別表示	C (1)	EDI情報の使用識別	Y: EDI情報として 使用する スペース: 顧客 コードとして使用 または未使用	○	画面の「EDI情報/顧客 コード」として表示 される。” Y” 以外の 文字が入力された場合、 スペースをして扱う。 (注1)
114 120	16	ダミー	C (7)	未使用		—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	、 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 振込金額に半角数字以外の値が設定されている場合、0円として扱う。

注3 「登録支払金額」で”すべての振込先に支払金額を登録”を選択した場合、設定した振込金額が「登録支払金額」として登録される。

総合振込先管理業務

表 10 トレーラレコードのレコードフォーマット[120 バイト]

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	8 : トレーラレコード	○	
2 7	2	合計件数	N (6)	データレコード 件数の合計		—	
8 19	3	合計金額	N (12)	データレコードの 振込金額の合計		—	
20 120	4	ダミー	C (101)	未使用		—	

表 11 エンドレコードのレコードフォーマット[120 バイト]

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	9 : エンドレコード	○	
2 120	2	ダミー	C (119)	未使用		—	